

## 特に御議論頂きたい論点

## 論点 1

原材料の長期的な安定供給に向けて、どのような仕組みが考えられるか

(現状)

- ・ 選定保存技術制度は、文化財の保存のために欠くことのできない材料の生産、製造等の技術・技能で保存の措置を講ずる必要のあるものについても選定対象とし保護
- ・ 一方で、必ずしも生産に伝統的な技術・技能が必要ない原材料が存在。産地の情報提供、管理業務支援、後継者養成等について、「ふるさと文化財の森」や「用具・原材料確保のための管理等業務支援事業」等を通じて支援

(対応の方向性 (案))

- ・ 文化財の保存に欠くことのできない原材料そのものの安定供給を図る仕組みが考えられないか

< 論点例 >

現行の「ふるさと文化財の森」や「管理等業務支援」を踏まえた支援の充実  
生産地・生産者・原材料のいずれに着目するか 等

(意義)

- ・ 一定の仕組みの下に原材料の長期的な安定供給に向けた支援が可能
- ・ 原材料や生産地の認知度向上や付加価値の創出に資する

## 論点 2

文化財の所有者や地方公共団体による寄附やクラウドファンディングの活用を促進するため、どのような仕組みが考えられるか

(現状)

- ・ 各種協議会やハンドブック等を通じて、文化財保護に民間資金を活用している好事例について情報発信

(対応の方向性 (案))

- ・ 公的機関でクラウドファンディングをサポートする仕組みが考えられないか

< 参考：ヒアリングで出た主な意見 >

- ・ 公的資金が投入されている施設の場合、寄附集めの自助努力をするところに、より予算がつくような仕組みが必要。
- ・ 公的機関によるクラウドファンディングのようなシステムがあればよいのでは。
- ・ 公的機関が金額や体制が小さいプロジェクトをとりまとめてクラウドファンディングを実行し基金化する仕組みがあればよいのでは。
- ・ クラウドファンディングの実行をサポートする相談窓口があればよいのでは。

(意義)

- ・ 所有者の自己負担軽減による適切な修理周期での修理の促進
- ・ 地方公共団体指定又は未指定の文化財に対する修理需要の創出